

令和3年度 岩手県総合教育センター所員全体会

《講義》

# 校内ケース会議の 新しいまわし方

～リフレクティングによるケース会議

八巻 秀

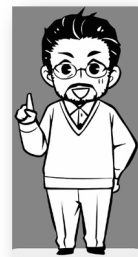
駒澤大学・SYプラクティス

2021年12月1日（水）  
13:10～14:10



## あらためて自己紹介

- ✓ やまき・しゅう。岩手県立水沢高校出身。
- ✓ 現在、駒澤大学大学院 で、臨床心理士・公認心理師の養成に携わり、かつ、東京都国分寺市にある「SYプラクティス」でカウンセリング活動。
- ✓ 8年前から岩手県総合教育センターで、教育相談の研修を担当。
- ✓ 一昨年度より、当センター教育相談部門スーパーバイザー。
- ✓ 専門は、臨床心理学、家族療法、アドラー心理学



さて、皆さんは「教師ドラマ」を  
見ていましたか？

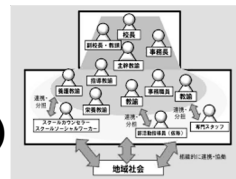


- もうこのようなドラマは作られないで  
しょうね～
- なぜならば～

**「チーム学校」の時代  
だからです！**

## チーム学校とは

中央教育審議会の答申（2015年）



- 「チーム学校」の具体的な改善方策3点

➤ **専門性に基づく  
チーム体制の構築**

教師が一人で抱え込まず、「チーム」で子ども達を見ていくという意識を高めることが必要！

➤ **学校マネジメント機能の強化**

➤ **教職員一人ひとりが力を発揮  
できる環境の整備**

## 教師がチームとして 子どもを見るということ



- 「チームでみていく」という意識を、学校全体で高めるために～
- ✓ 管理職が、一教師の「個人の教育能力」という評価から、「**チームとしての役割を果たしているか**」という評価の重視へ
- ✓ **子どもの事情・状況・情報を、教師全員で（学年を越えて）共有していきこうとすることが大切！**
- ☞ **あらためて、ケース会議の意義！**

## これまでのケース会議は～

- 年に1～2回程度で「子どもを語る会」「ケース会議」などとして、「問題のある子ども」について、一教員から全体に報告するのみ。
- 「教育相談部会」などとして、各学年代表者と養護教諭、スクールカウンセラーなどの一部のメンバーで、事例性のある児童・生徒について情報共有するのみ。
- ✓ 学年が違くと「**他人事**」のような意識になる。
- ✓ **一部の教員だけで情報共有するだけになってしまっていた。**
- ☞ **「教師全員で子どもをみていく」という意識・行動が生まれにくい構造になっていた！**

## 新しいケース会議のススメ

- ✓ 日々刻々と変わる現場では、定期的な子どもの状況把握が必要。
- ☞ 短い時間でもプレゼン・検討できるような「**プチケース会議**」のススメ
- ✓ 状況を教師全体で（他人事にならない）把握が必要。
- ☞ 子どもの状況報告のみで終わるのではなく、参加者全員での「**リフレクティン**グ」を行うことのススメ



## 「プチケース会議」の流れ

- ① 1学年で数名の事例性のある児童・生徒を、一人につき数分程度（名前・状況説明・困りごとなど）のプレゼン。
- ② プレゼンの後、参加者全員で2～3人組になって、「**リフレクティン**グ」を数分程度行う。
- ③ 参加者数名からフィードバック。
- ④ 次の児童・生徒のプレゼンに移る。

## リフレクティングについて

- ある子どもについてのプレゼンを聞いた上で、2～3人になって、以下の点について（思い出したり、想像力を駆使して）語り合う。
- ✓ **知っている・見たことがある子ども**であれば～最近の様子を見て気づいたこと・気になったことを話す。
- ✓ **知らない子ども**であれば～（自分がプレゼンした教員の立場になったと想像しながら）そのような状況から考えられること、対応の仕方のアイディア・留意点、などを話す。



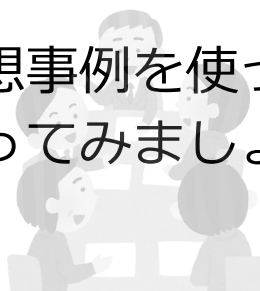
## リフレクティングでのマナー

- 報告を聞いて、その場で思い出したり、感じたことを話す。知識や経験をひけらかすことはしない。
- 最近その子を見たという情報はオープンに。
- 事例に関わった人の**批判はしない。否定的・断定的な言い方も基本的には禁止。**
- **アイ・メッセージ**で語るようにする。
- 「これからどうしていくか」という**姿勢**を大切にする。



# リフレクティング ケース会議のワーク

仮想事例を使って  
やってみましょう



## 3年B組 鈴木 太郎さん



このような本人の写真  
をつけたパワポ資料を  
提示しながらプレゼン

- 11月23日（火）の朝、カバンの中にナイフを所持していたのを見つけたクラスメートが担任に報告。
- 1限目を休ませて事情を聞くがずっと黙ったまま何も話さず。
- 両親と連絡を取り、母親が当日の午後に来校。母親も知らず、本人がネットで購入したらしい。
- 何の目的で購入して、どうして学校に持ってきたか、未だ不明。
- 現在は通常通り学校には登校している。

# リフレクティングの時間 の デモンストレーション

センターの先生と私が  
リフレクティング・トークを  
してみます。



## では、皆さんも少し リフレクティング体験を（続き）

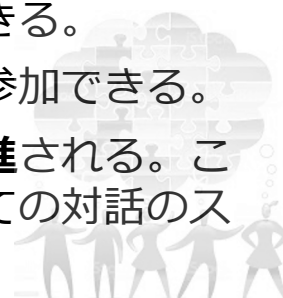
- お近くの方2～3人で向き合って組を作ってください。
- 先程の事例について、●分間、リフレクティング・トークを行いましょう。
- どんなことを話し合われましたか？

では、何人かの方から「こんなことを話してみた」ということをフィードバックしていただきましょう！

## リフレクティングを使った プチ・ケース会議のススメ

✓ リフレクティングを使うことにより～

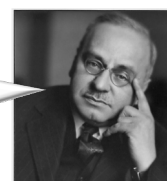
- ケース提供者の「教育力の問題」という個の問題にならないで、参加者が**チーム学校の意識を高めていく**ことができる。
- **他人事ではない当事者意識**で参加できる。
- 教員個人の中の**内的対話が促進**される。これができることは、教員としての対話のスキルアップにつながる。



## 子どもの心を理解するには？

- 子どもから直接聞き出す事は困難な場合が多い。
- 言葉よりも、その子どもが「**何をしていたか**」という「**行動**」を見ていきながら、その「**目的**」を考えてみるのが良い。

あらゆる行動には目的がある



A. アドラー

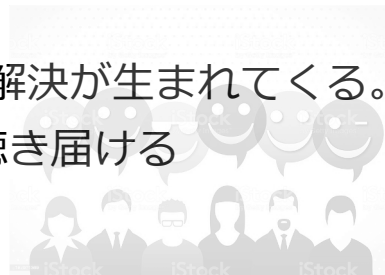
- そのためにも、より多くの人からの情報や意見を集めて判断することが大切。
- ✓ 子どもをより理解し、それに対応していくためにも「**ケース会議の定期的な開催**」が必要！



## ケース会議が重要な時代

- 子どもをよく見ていくには、担任一人が抱えるのではなく、「**チーム学校**」として、より**多くの教員が「その子どもを見ていく」**ことが大切。
- 多くの教員で「**その子に関する情報を共有する**」ことも大切。
- そこから何らかの変化・解決が生まれてくる。
- ✓ 現代は多くの人の声を聴き届ける

## 「多声性」の時代



## 今日のお話の参考文献



まんが やってみたいくなる  
オープンダイアログ  
(医学書院)

- 今日取り上げた「**リフレクティング**」という手法・考え方は、現在、様々な分野で注目されている「**オープンダイアログ**」という実践で行われてます。
- 左の本は、このオープンダイアログに関する入門書です